

スクールインターンシップで学んだこと

文学部 英文学科 3年次生

1. スクールインターンシップに参加した理由

まず、私は、教師を目指すにあたって、中学校と高校どちらの教育現場も見ておきたいと思っていました。そこで、教育実習は中学校に行くことが決まっていたので、スクールインターンシップで高校に研修に行きたいと思い、今回のスクールインターンシップに応募しました。そして、2022年8月25日から2022年9月9日までの期間の10日間、京都府立の高校に研修に行かせていただきました。以下では、そこで学んだことを中心に、私の体験を紹介させていただきます。

2. 研修内容

研修内容としては、主に、授業見学や、担当のホームルームクラスの活動や文化祭準備の補助をしました。また、担当のホームルームクラスの生徒の英作文課題にコメントをつけたり、部活動に参加したり、校務支援員の補助をしたりしました。

3. 学んだこと

まず、英語の授業について、英語を用いつつ、生徒に分かりやすいように発問・指示することの難しさを改めて感じました。また、同じ教材でも、先生やクラスによって、授業の展開の仕方が違うことに気づき、生徒に合わせて授業を変えることの大切さも学びました。さらに、授業の中での先生方の具体的な工夫も学ぶことができました。例えば、明確な1つのポイントに一貫して基づいた授業のわかりやすさを改めて実感し、自分でも実践したいと思いました。その他にも、大学で学んだ通り、学校全体として、生徒に考えさせることや主体性を重視していると実感しました。そのうえで、生徒が主体になるようにサポートしたり、必要なときに適切なアドバイスをしたりすることが、教師の役割として重要なことだと学びました。これらのことは、教育実習などのこれからの実践で気をつけたいと思ったと同時に、そのような気をつけるべきポイントを自分なりに見つけられたことは、私にとって大きな学びとなりました。

4. 最後に

私は、今回のスクールインターンシップに参加し、実際の学校現場を教師の目線から体験したことで、大学の中で学んでいるだけではイメージしづらかった、「わかりやすい授業」や「理想の教師像」について、以前よりもイメージしやすくなりました。研修先の学校の先生方にもとても良くしていただき、本当に貴重な体験をすることができたと思っています。皆さんも参加すれば、必ずなにか学べると思うので、ぜひ参加してみてください。